

## 要請番号 (JL56916B02)

募集終了



| 国名    | 職種コード 職種  | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次                       |
|-------|-----------|------|------|----|------|----------------------------|
| カメルーン | G113 体操競技 |      | 個別   | 新規 | 2年   | ・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3 |

### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名 (日本語)

スポーツ・体育教育省

#### 2) 配属機関名 (日本語)

ニヨン・ソー県スポーツ体育教育事務所

#### 3) 任地 (中央州ニヨン・ソー県ンバルマヨ市) JICA事務所の所在地 (ヤウンデ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.5 時間)

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

スポーツ体育教育省ニヨン・ソー県事務所は、カメルーン体操連盟と連携して体操競技の改善・発展・向上に向けた啓発・普及・運営管理を行っている。ただし同県事務所は体育館を所有しておらず、体操連盟から派遣されている女性指導員はNGO孤児擁護施設の体育館において、若い選手を対象に体操指導を行っている。クラスは選手のレベルに応じて4段階に分かれており、各レベル毎に大会に出場し、入賞する選手もいる。年間予算は約100万円。

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

カメルーンではサッカーをはじめ各種スポーツが盛んに行われている。同国へのJICAボランティア派遣は2006年から開始されて10年目を迎えるが、スポーツ分野への派遣実績はなく、2020年の東京オリンピック開催を機に、今般スポーツ体育教育省から体操競技の要請が挙がった。同国の体操競技は発展途上の段階にあり、床体操・器械体操においても基本的なトレーニング方法が確立されておらず、体操競技の技術向上の可能性を求め、日本の体操技術に大いなる期待が寄せられている。JICAボランティアはスポーツ体育教育省県事務所配属となり、NGO孤児擁護施設体育館にて活動する。活動対象は任地の子供達・若年層となり、日本の若いボランティアによる活動が期待されている。

#### 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

地域の4歳~22歳の若い選手を対象に以下の活動を行う。

1. 初心者の子供たちに体操の楽しさを教え、啓発・普及を図る
2. 選手達に床運動・器械体操等の初歩的トレーニングを行う。
3. カメルーン体操指導員(女性)との協働により、体操実技の改善を図る。
4. 選手に対する体操理論と実技指導により、若い選手の育成に努める

#### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

県事務所は机・椅子。活動先孤児擁護施設の体操器具。床マット。(ショック吸収マット、トランポリン、平均台、馬を作製中)

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

主任・職員・指導員等15名(20代~50代)

同僚:体操指導員女性30代

活動対象:30名(4~15歳25名、18~22歳5名)の若い選手

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（大卒）体育 備考：体操競技の理論を伝授するため。

[経験]：（競技経験）3年以上 備考：指導員との協議・連携を図るため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯性） 気温：（20～35℃位）

[通信]：（電話可）

[電気]：（不安定）

[水道]：（不安定）

【特記事項】